

えんがわ通信

「えんがわ」という名前には、人と人とのつながりが生まれ、「縁」が「輪」のようになって広がってほしいという願いが込められています。

第14号 2013年2月
発行※ 一般社団法人パーソナルサポートセンター
就労支援事業部
住所/ 仙台市青葉区二日町6-6 シャンポール青葉201
電話/ 022-395-6258
WEB/ http://www.personal-support.org/

職業体験実習好評

参加者「いろいろ学んだ」

一般社団法人「パーソナルサポートセンター」(青葉区二日町・略称PSC)が被災者を対象に昨年実施している「職業体験実習」が、参加者に好評だ。さまざまな現場で最大20日間、プールの仕事を体験できることから、開始数カ月で早くも9人が参加。体験を通じて、仕事への意欲を高めている。

2月上旬、青葉区内の飲食店で、10代の女性が料理の盛り付けに精を出していた。



飲食店での職業体験に精を出す実習生＝仙台市青葉区

へ理解を深めた。女性は、「料理を盛り付けるときに、見栄えを良くするなど、工夫していることを学びました。スツップのみなさんと話をすることで、自分を振り返ることもできました。参加してよかったです」と笑顔で語った。

実習には印刷会社や生花店など、これまで県内13の事業所が協力を表明。2月末までに、10代から60代までの男女9人が、体験実習先を決めている。PSC就労支援事業部の担当者は「興味がある人はぜひ、相談に来てほしい」と話す。同事業部では、参加者と、受け入れ事業所を募集している。連絡先はPSC就労支援相談センター「わっくわあく」022(395)6323まで。

PSC

明日へつなぐ

社会的に孤立しないことが大事。自分のサポーターを探してほしい。

みやぎ心のケアセンター
地域支援部長
福地 成 さん



震災で心理的影響を受けた方々が、コミュニティの中で、一日も早く安心して生活できるよう支援するため、2011年12月に、みやぎ心のケアセンターは設立されました。

当初は、県内各地で巡回訪問を行い、震災に伴う心的外傷後ストレス障害(PSTD)やうつ病、アルコール依存への相談、精神疾患予防に向けた啓発などを展開しました。

いまは、県内の市町村が実施した調査結果から、訪問が必要と判断した被災者の方々に訪問して、話を聞いています。そうした中で、支援が必要な場合、行政や医療機関などにつなぐ役割を担っています。

の疾患に対応できる専門家を育成するため、被災地の精神科の病院などを対象に、研修も実施しています。支援者対象にした交流会や講演も行っています。

移って、しばらく経ちます。震災前のコミュニティがそのままの状態で残っているところもあれば、さまざまな地域の方が移り住んできたこともあり、状況はさまざまです。

社会的に孤立しないため、自分のサポーターを見つけることが大切です。行政でも、医療機関でもよいので、誰かとつながってほしいと思います。私たちも、何でも相談にのります。困ったことがあったら、声を掛けてもらえればと思っています。詳しくはみやぎ心のケアセンター <http://miyagi-kokoro.org/>

9人が就労先決定

ハローワーク出張相談
ハローワーク仙台(宮城野区)が昨年10月から「わっくわあく」で実施している出張相談の参加者のうち、9人が就労先を決めたことが、PSC就労支援事業部のまとめで分かった。

同事業部によると、1月末時点で就労先を決めたのは、出張相談に参加した20代から60代までの男女9人。飲食や福祉、清掃などの仕事に就いたという。参加者に占める就労決定者の割合は25.7%。4人に1人が決まった計算になる。3月は8日と22日に実施する。(裏面TOPICSに関連)

田村厚労相ら仮設住宅を視察
宮城野区・扇町1丁目公園
田村憲久厚生労働相と、秋葉賢也副大臣が1月16日、宮城野区の扇町1丁目公園仮設住宅を訪れ、住民らの要望を聞くとともに、生活の様子などを視察した。



田村厚労相は集会所で「みなさんから意見、ご要望をいただき、少しでも(施策として)実現できるといい」とあいさつし、写真左側。同仮設住宅団地で被災者の見守り活動を展開しているPSCの新里宏二代表が、地域支え合い事業の予算の積み増しや、生活再建を促進させる施策の実施などを求める要望書を手渡した。その後、田村厚労相ら

金属の芸術品完成

3月京都で披露
昨年5月から9カ月間、制作を続けてきた作品「メタルファイバート」が、このほど完成した。青葉区内の仮設住宅に同居する女性3人がパーツをつくり、京都市内の芸術家が仕上げたもので、3月に同市内で展示される。

制作はメタルファイバートアーティストのやまなかかづこ氏(京都市)の依頼で実現。太さ0.1、0.3ミリの銅やステンレスなどの金属糸を使い、目の数とかぎ針の太さに変化をつけながら、編み上げた。

完成した作品は3月5日から17日まで、清瀬堂ギャラリー(同市中区)で開かれるやまなか氏の個展で展示される。テーマは「LOVE UNDER」。東北への思いも込めたと同氏は「編み手さんの丁寧な仕事ぶりに創作意欲がわきました。感謝しています」と話している。問い合わせはPSC就労支援事業部022(395)6258まで。

えんがわの輪②



阿部 弘子さん(61)
仙台市太白区郡山
「多くの活動楽しみたい」
昨年4月に封入作業に参加したのがきっかけで「えんがわ」の活動に参加するようになりました。

「わっくわあく」の所在地
就労支援相談センター
わっくわあく
住所: 仙台市青葉区二日町6-6
シャンポール青葉201
相談予約: 022(395)6323
アクセス
市営地下鉄 勾当台公園駅 徒歩3分
市バス 宮交バス 県庁・市役所 青葉区役所前 徒歩2分

